

シリーズで時流に基づいてほしければ、明朝体を用いたホームページ（HP）のいながらシックな色合いのコンテンツの見直しについてデザインにする必要がある。述べているが、今号はブ

ランディングについて考察。まずは、自施設の今のHPしたい。ブランディングをPのデザインがターゲット一言で表現することは難しいが、ここでは「価値の伝達、向上」と位置付けた。次に、自施設の価値の向上を図ってほしいが、こ

HP上のブランディング。まずは、自施設の価値の向上を図ってほしいが、こ

インターネット 第144回

徹底集客

デザインが洗練されていれば、料理長が毎日漁港で仕入れをしているとか、使っている野菜は全て自家生産であるとか、日本酒を多数そろえている宿であるとか、どんな小さなことでも構わないので、こ

例えば、高価格帯ではないが、伝えないと伝わらない。高価格帯・さらに付け加えれば、そ

高級路線の宿として認知し、このこだわりをナンバーワン

HPの最新トレンド（ブランディング）

にまで仕立て上げたい。ニッチ分野で構わないので、地域ナンバーワン、県ナンバーワン、全国ナンバーワンと目指していったほしい。全国ナンバーワンは大げさだとしても、まずは地域ナンバーワンになるということが大事である。

例えば、露天風呂の大きさが地域ナンバーワンであるとか、取りそろえている日本酒が100種類で県ナンバーワンであるとか、OTAでの売り上げがナンバーワンであるとか、何でも構わないが、人はやはりナンバーワンにひかれるものである。

次号以降で具体的な掲載方法などを含め、述べていきたいが、まずは、なにがしかのこだわりを当てる、ナンバーワンになれるものを見つけてほしい。

（株式会社アビリティコンサルタント・株式会社ブルーライムコンセプト 内藤英賢） 隔週掲載